

|          |  | チェック項目  | はい | いいえ  | 工夫している点、課題や改善すべき点など   |
|----------|--|---|----|--|---|
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか                                  | ○  |  | 活動内容に合わせて部屋を用意している  |
|          | 2  | 職員の配置数は適切であるか   | ○  |  | 国が示している放課後等デイサービス事業所の職員配置基準以上の職員を配置している   |
|          | 3  | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか                           |    | ○  | バリアフリーを必要とする利用者がいない   |
| 業務改善     | 4  | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか                | ○  |  | 職員間の情報共有に関しては、毎日支援前にミーティングを行い昨日の問題点や今日のスケジュールを共有している。月1回職員会議を行っている。パソコンで情報共有ができる設備を備えている  |
|          | 5  | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか     | ○  |  | 年2回の面談と年2回アンケート調査を実施し業務の改善に繋げている。必要に応じて個別の面談時間を設け療育に繋げている   |
|          | 6  | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                           | ○  |  | 毎月オーケストラ通信を発行している。療育の様子をホームページ及びインスタグラムで公開している  |
|          | 7  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか                             |    | ○  | 外部委員2名が決まり内容・結果を業務改善に繋げていく  |
|          | 8  | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか                                | ○  |  | 事業所内研修と外部研修の機会を設けている。内部研修では、障害についての理解・基本的な支援の方法を問題提起し専門制を学ぶ機会としている。外部研修では、支援方法のスキルアップ、虐待防止等サービス提供に必要な研修に参加し学ぶ機会を得ている。研修情報は、職員に口頭や掲示で情報提供している。内部研修では、専門家を講師に招き知識の習得や療育や支援方法について助言を頂く機会を設けている |
| 適切な支援の提供 | 9  | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○  |  | 個別支援計画の見直し時や保護者との面談時にアセスメントを行い家庭尺度・学校尺度の確認・情報収集をしている  |
|          | 10   | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか                 | ○  |  | 独自のアセスメントツール『成長の物差し』を作成して丁寧に確認作業をしている。身辺自立・生活自立・社会自立・職業自立をさらに細分化した項目に分けてアセスメントしている。テーチャプログラムのTTAPを参考にしている   |
|          | 11   | 活動プログラムの立案をチームで行っているか                                       | ○  |  | 個別活動のプログラムは、利用者別の担当者が作成し集団活動のプログラムは、チームで企画し実施している   |
|          | 12   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか                                     | ○  |  | 個別活動と集団活動を組み合わせて固定化しないようにしている 年齢に応じた課題に常に取り組んでいる  |
|          | 13   | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか                         | ○  |  | 月・料理 火・ダンス 火水木・個別学習 金・音楽 季節や目標を変えて支援している 長期休暇では、地域社会との交流や就労事業所訪問など経験を積む機会を設けている   |
|          | 14   | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか            | ○  |  | 発達の状況・年齢・特性等に配慮した小集団やグループワークプログラムを実施している  |
|          | 15   | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか             | ○  |  | 支援前ミーティングを行い前日までの情報提供・連絡事項・当日のプログラム説明を実施しスタッフで共有している  |
|          | 16   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか        | ○  |  | 当日の連絡帳(保護者から)の確認を行い連絡事項や当日の状況を確認し支援の振り返りを行っている  |
|          | 17   | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか                    | ○  |  | 支援終了後に個別に記録をとっている。記録はパソコンの共有に保存しスタッフは担当者が作成した記録の確認ができる。担当者以外でも気づいたことは文字色を変えて書き込みができる仕組みを作っている   |
|          | 18   | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか                  | ○  |  | 必要に応じ実施するとともに最低半年に1回はモニタリングを実施し計画の見直しを行っている   |
| 19       | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○   |    | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し実施している |   |

|              |    |  |   |   |  |
|--------------|----|--|---|---|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                     | ○ |   | 支援会議等の招集があった時には、参加できる体制をとっている。児童発達管理責任者と個別の担当者の参加を考えている  |
|              | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ |   | 保護者から年度初めに学校からの年間計画のコピーを頂いている。月ごとの行事予定を送迎時に学校から頂いている。情報の共有は必要と思われる場合には、その都度学校・事業所・併用事業所で連絡を取りケース会議を行っている |
|              | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか                             |   | ○ | 該当者なし  |
|              | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか                |   | ○ | 中学生・高校生を対象の為該当なし   |
|              | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか     | ○ |   | 依頼があれば情報提供が出来るように準備している  |
|              | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                          | ○ |   | 開催する研修に参加し専門性を学びたいと考えている   |
|              | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか                                 |   | ○ | 児童クラブとの交流は無いが、子供の集まる行事には積極的に参加している   |
|              | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか   | ○ |   | 専門部会や研修に積極的に参加し情報交換の機会を得るようにしている   |
|              | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                        | ○ |   | 連絡帳や送迎時が保護者との情報共有の場となっている。必要に応じて電話にて確認している   |
| 保護者への説明責任等   | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか                       | ○ |   | 性教育や留守番プログラムを提示し、対応について一緒に検討し、個別に対応している。   |
|              | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか                                      | ○ |   | 契約時に説明を行っている。制度変更や報酬改定があるときは、その都度書面で説明し押印をもらっている。  |
|              | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか                              | ○ |   | 連絡帳や送迎時に対応している。電話での相談窓口を設けている。気軽に相談できるように心がけている  |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか                          | ○ |   | 『性教育』をテーマとした保護者会を実施  |
|              | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか    | ○ |   | 苦情相談窓口を設けている。意見が言いやすい環境を整えている。苦情に対しては、随時職員会議で取り上げ文書で適切且つ迅速に対応している  |
|              | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか                      | ○ |   | 毎月オーケストラ通信を発行している。毎月の活動企画や行事予定を掲載している。事業所玄関や廊下に活動の様子や写真を掲示している。  |
|              | 35 | 個人情報に十分注意しているか   | ○ |   | 個人情報同意書については、保護者から同意書に記名押印を頂いている   |
|              | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか                                  | ○ |   | 伝達方法については、発達の変化や状況を踏まえながら丁寧に行っている  |
|              | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか                                    | ○ |   | 文化祭や体育祭に招待している。地元農家や商店の協力を頂いている。   |

|         |    |   |   |  |
|---------|----|---|---|--|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか                                | ○ | 令和6年3月末に対応マニュアル作成。次年度にむけて職員や保護者に対して周知を行っている。               |
|         | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | ○ | 毎月避難訓練をしている。地震・台風・火事・噴火・大雨・感染症を想定している                      |
|         | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | ○ | 虐待を防止マニュアルを作成。事業所内研修を実施している。                               |
|         | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | 該当なし   |
|         | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | ○ | 食物アレルギーに対しては、契約時に保護者に記入して頂いている。長期休みに料理療育を実施するので休み前に実施している。 |
|         | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | ○ | 事故防止の観点から随時ヒヤリハットを作成し全スタッフに周知している。スタッフ全員で検討会を行い事故防止に繋げている  |